

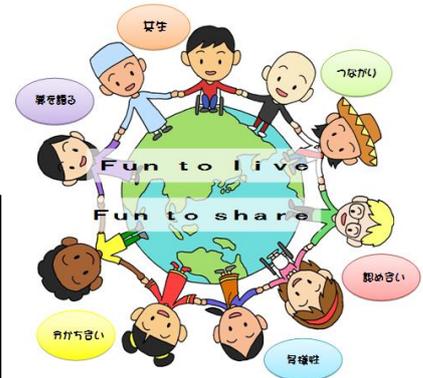
3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

＜本校の重点目標及び具体策＞～学校経営方針に記載～
 ユネスコスクールの理念に基づき
 「つたえること、つながること、ひろがること」の活動をとおして共生社会の実現を目指す。

＜本校のESDのねらいやテーマ＞

- 他者を理解するとともに、相互に人格を認め合うことができる児童生徒を育む
- 児童生徒が様々な人や異文化とのかかわりを通して経験や想いを分かち合い、夢をもって楽しみながら生きる姿をめざす



＜今年度の主な取り組み＞

各教科領域等、道徳教育、キャリア教育、交流学习、防災教育などすでに本校で当たり前に取り組みされている様々な学習がESDにあてはまる、と考えています。それらを「つながり」というキーワードで捉え、以下のように4つにわけて取り組みをまとめました。

学校内でのつながり（人とのつながり）



生徒会が中心となって
取り組んだあいさつ運動



隣のクラスの友達とバンド
を組んで演奏&発表



安定した歩行をめ
ざした身体の学習



七夕の成り立ちを学習し、
友達と協力して劇発表



校内駅伝大会
で襷リレー

地域とのつながり



生徒会活動で
学校周辺のゴミ拾い



卒業後の生活に向けて、公共の交通機
関利用体験や外食体験を行った



生徒達自身の声が届き、押しボタンの位置や信
号の長さが車いすで使用しやすいように変更

他校とのつながり



地震があった熊本の特別支援学校
へのメッセージ作成・交換



We are the world を歌って
アメリカと交流学习



市原八幡高等学校との年2回の交流学习
ポリバットピンポンやハンドサッカーでスポーツ交流

社会・学校外とのつながり



スペシャルプロジェクト2020（文部科学省でパラリンピック選手や大臣とポッチャを広めるイベント）に参加



いのちを大切にするキャンペーン実践発表会で学校の取組や体験談を発表

<校内でのその他の取り組み>

◆「音楽」を通してのアメリカとの交流学习

昨年度から取り組んできた、「We are the world」を桜が丘特別支援学校が英語で歌い、アメリカの高校が日本語で歌い、それぞれの動画を合体させて一つのミュージックビデオを作成する、というアメリカとの交流学习です。完成したムービーは、多様性やつながりを感じられるステキな仕上がりとなりました。実際の完成版を見た生徒達は、皆嬉しそうにしており、引き続きつながりたいということで、生徒たちの発案で手紙を書きました。

◆世界のごはん（毎月1回 国際理解の食育の日）

給食で、「世界のごはん」という国際理解の食育の日が毎月1回あります。栄養教諭も積極的に国際理解教育、E S Dに取り組んでいます。タンザニア、ブラジル、インド、韓国など様々な国の料理が給食に出ます。世界のごはんの日はその国の言葉でのあいさつを練習してみたり、今まで知らなかった料理を知ることができたりと、生徒たちも楽しみにしています。

【タンザニア料理】



◆生徒会活動

今年度から、生徒会の活動のなかにもユネスコスクールとしての「つながり」を大切に活動を取り入れています。今年の生徒会長が昨年度の千葉大でのポスター発表に参加した生徒で、生徒会長からも自主的に「ユネスコスクールとして地域や社会とつながる活動をしてみたい」という言葉が聞かれました。

運動会や文化祭の告知ポスターを学校周辺の商店や郵便局に届けに行ったり、熊本の震災をみて自分たちにできることで何かしたいということで、熊本市の特別支援学校に学校から応援メッセージを送るという活動を生徒会が中心となって取り組んだりしました。熊本のかがやきの森支援学校からは、お礼のメッセージが届き、生徒会のメンバーはとても喜んでいました。後期始業式で全校児童生徒の前で報告をし、現在は廊下に掲示してあります。

今後も、生徒たちの発信をくみ取りながらユネスコスクールとして地域や社会とつながりをもてるような活動を盛り込んでいきたいと思っています。

◆文化祭でユネスコスクールブース設置

ユネスコスクールとして、本校でのE S Dの取組を多くの方に知ってもらいたいというねらいのもと、各学部（小学部・中学部・高等部・自立活動部・寄宿部）の取組をまとめた掲示物を作成し、桜翔祭（文化祭）でブースを設置してまとめて掲示しました。来校してくださった方々に本校の取組を知っていた



だくことができただけでなく、各学部でESDの取組をまとめることで、私たち自身が日頃の学習内容をESDの視点で振り返ることができ、児童生徒たちも教員自身もESDについての興味関心や理解が深まったと感じています。26年度から毎年ブースを設置していますが、年々掲示物の内容が充実しています。桜翔祭にむけて掲示しましたが、校内の先生方が放課後に足を止めて掲示物を読む姿も見られました。学校外に実践報告をすることも大事ですが、このように、校内の教員同士でESDへの意識を高め合うことも大事なことであったと再認識しました。

【その他の活動】

◆全国特別支援学校ESDフォーラム 8月26日(金)

(愛知県名古屋市のJICA中部国際センターにて)

全国の特別支援学校ユネスコスクール7校が一堂に会し、お互いの情報交換を通して、今後の連携を深めるとともに、全国の特別支援学校のESD活動の展開に寄与することを目的に開催されました。本校のESD実践発表では、本校ではESDの考え方を「つながり」「発信する」→「共生社会の構築」というキーワードにして考えていることを伝え、昨年度の各学部の取り組みやアメリカとの交流学习についてだけでなく、今年度からは生徒会でも「つながり」を大切に活動に取り組んでいること、学校全体としてESDに力をいれて取り組んでいることを発表しました。

◆海外での研修に教員を派遣

国際連合大学 2015～2016 年国際教育交流事業「韓国政府日本教職員招へいプログラム」に参加し、平成28年7月12日(火)～7月18日(月)の期間、韓国に教員を派遣しました。韓国では、現地の教育機関・学校訪問や文化施設見学を行い、韓国のユネスコスクールにも訪問しました。

内閣府青年国際交流事業、平成28年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」に参加し、平成28年10月7日(金)～20日(木)の期間、フィンランドに教員を派遣しました。フィンランドでは、障害分野に関連する省庁や施設、特別学校等を訪問・見学し、フィンランドと日本の両国の障害者関連活動についての理解を深めることができました。

◆千葉県高等学校・特別支援学校ユネスコスクール連絡協議会への参加

千葉県内のユネスコスクールに加盟している高等連絡協議会に、同じ県立という立場で特別支援学校も加わり、1年に約3回の活動を行っています。今年度の1回目の8月は台風の影響で中止になり、2回目が11月19日に開催され、本校からも5名の生徒が参加しました。そこでは、本校教諭が「ESDに期待すること～青年海外協力隊の経験を通して～」という内容で全体研修を行い、その後、持続可能な社会の構築について高校生同士でのグループ討議が行われました。また、2月18日には千葉大学でESD成果発表会が行われました。今年度の桜が丘のESDの取り組みについてまとめ、高等部の生徒達6名がパワーポイントを用いて、100名以上の方々の前で発表しました。



この連絡協議会は、生徒達にとっては、同年代の人と「持続可能な社会の構築」について意見を交わすことのできる貴重な場となっています。本校がめざす、「障害がある人も無い人も共に助け合って生きることのできる共生社会の構築」のためには、このように当事者である生徒たちが想いを伝える機会はとても重要であると考えています。生徒たちが主体的に活動し、他校の生徒とつながっていくことの大切さを感じています。

◆サステイナブルスクールへの参加決定

28年度9月から3年間継続で取り組んでいく予定です。

29年度は、同じサステイナブルスクールの学校との交流学习をしたいと考えており、現在相手校との調整中です。

◆UNESCO 国際プロジェクト(機関包括型アプローチプロジェクト)への参加決定

28年度は、今後の計画を考える年となりました。

29年度からは、気候変動・環境教育・防災教育・減災教育の視点で全校でESD活動を行う予定です。各教科で横断的に学習を進めていきます。

《28年度の成果と課題》○成果 ●課題

【生徒より】

○校内では、学年を越えた交流が増えた。

○校外では、他校の人たちや地域とのつながりをもつことができた。

○アメリカの高校との交流もでき、桜が丘が掲げる「つながり」を達成することができた。

●外部への発信をもっと増やしていきたい。

●次年度は「つながり」以外の「つたえる・ひろげる」にも力をいれて活動していきたい。

●どのように広げていくかを考え、実践していく必要がある。

【教職員より】

○ESDを「つながり」というキーワードで考えるようにしたことで、ESDに対する意識が高まった。

○障害の有無に関係なく助け合って生きていくことができる共生社会を構築していくことが大切であるということが明確になり、「つながり」を大切にした活動を取り入れることができるようになってきた。

●学校での取組をより多くの方に知ってもらえるように、発信する力や方法を工夫する必要がある。

●どのような活動が、ESDの取組であるかということを広義で捉えられるように実践を校内で紹介しあっていく必要がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）